Version1.1（2020年6月23日）
2020/7/10
（倫理審査委員会承認日以降）

研究に関するお知らせ

研究課題名： 診療所に勤務する医師の抗菌薬適正使用に関するアンケート調査

国立研究開発法人　国立国際医療研究センター病院　AMR臨床リファレンスセンターでは、以下にご説明する研究を行います。

研究の説明に同意いただける方はアンケートへご回答ください。参加されなくても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。なお、この研究を行うことについては、病院内に設置されている倫理委員会で審査を受け、承認を得ております。

■研究目的・方法

最近、薬剤耐性(AMR)が世界的な問題となっており、不適切な抗菌薬使用が原因の1つと考えられています。抗菌薬の多くは外来で処方されており、AMR対策において診療所で働く医師の果たす役割は大きいものとなっています。これまでに行われた抗菌薬処方に関するインターネット調査では、診療所に勤務する医師の意識や実情は正しく反映されていないとの指摘がされてきました。これは、診療所に勤務する医師は医師全体の3－4割を占めますが、調査に回答する診療所勤務の医師の割合がそれよりも低いこと、またインターネットという使用媒体による選択バイアスがかかっている可能性があることが理由です。

この状況をふまえ、日本化学療法学会・日本感染症学会では2018年に全国の診療所に勤務する医師を対象に無記名式のアンケート調査を実施し、その結果は学会誌などで発表いたしました，前回の調査から2年が経過し、その間、抗菌薬の適正使用に関する様々な取り組みが進められてきました。今回、診療所に勤務する医師の医師や行動に変化が見られるのか、現在の実情を調査することで、今後の教育・啓発活動に活かすことを目的としています。

方法は、全国保険医療機関一覧から無作為抽出した3000の診療所に、調査票を郵送し、無記名でご回答いただいた後、料金受取人払いの郵送で返信していただきます。

■研究期間

倫理審査委員会承認後～2022/3/31

■研究の対象となる方

全国保険医療機関一覧から無作為抽出した3000の診療所に勤務する医師。

■研究に用いる試料・情報の種類、2次利用について

対象期間中に回収されたアンケート等を、研究に使用させて頂きます。

このアンケートを新たな研究に利用する場合は、新たな研究の研究計画書等を倫理審査委員会に付議し、承認されてから利用いたします。

なお、締め切りは　月　日（当日消印有効）とさせていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。

■利益相反について

本研究は、日本化学療法学会・日本感染症学会の外来抗菌薬適正使用調査委員会の調査として実施します。利益相反の状況についてはNCGM利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、記載のお問い合わせ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究は無記名式のアンケート調査の結果を利用するため、参加の有無について個人が特定されることはありません。また、アンケートで患者の個人情報は取り扱いません。そのため、アンケートを返信された後は、アンケートが無記名式であるため、参加への同意撤回ができませんのでご了承ください。

■研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
国際感染症センター・AMR臨床リファレンスセンター　大曲　貴夫

■お問い合わせ先

国立国際医療研究センター病院
AMR臨床リファレンスセンター　具　芳明、 藤友　結実子
〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1　TEL:03-6228-0062　FAX:03-6228-0420